



施策マネジメントシート(2022年度の振り返り、総括)

作成日 2023 年 6 月 12 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	総務課	
				課長	高野 明夫	
施策	8	生活安全対策の推進	関係課	観光商工課 商工振興係		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
	町民	犯罪被害、交通事故にあわない、起こさない。		1	交通安全・防犯意識の高揚	町民	交通安全と防犯に対する意識を高める。
				2	交通安全・防犯設備の充実	町民	交通事故や犯罪被害にあわない。
				3	消費者保護対策の推進	町民	消費者被害にあわない。
				4			

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者や幼児、児童や生徒、歩行者や運転者など、町民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図ります。</li><li>・道路区画線、ガードレールやカーブミラーなどの交通安全設備の整備を図り、危険箇所の解消に努めます。</li><li>・防犯意識の高揚と、防犯灯・防犯カメラなど防犯設備の整備を図ります。</li><li>・消費生活センターと連携し、相談しやすい体制をつくり、広報等を通じて消費に関する正しい知識の普及や被害を防止するため意識啓発を図ります。</li></ul>
---------	---

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	交通人身事故発生件数	件	実績値	73	73	70	51	40	35	47
				目標値		70	67	64	61	58	55
	B	刑法犯認知件数	件	実績値	86	75	64	78	50	57	27
				目標値		84	81	79	76	73	70
	C	過去1年間に、消費者被害を受けた町民の割合	%	実績値	8.4	7.1	9.5	6.6	7.8	6.8	8.9
				目標値		8.1	7.8	7.5	7.2	6.9	6.6
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 交通人身事故統計年報により実数を把握 ※1月～12月の数値</p> <p>B) 刑法認知件数が増えたと、身近で犯罪にあう町民が増加すると考えたため成果指標とした。 群馬県防犯推進レポートにより実数を把握</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が減少すれば消費者被害にあっていないといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいけない思いをしたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p>
-------------------	---

目標値設定の考え方	<p>A) 交通人身事故発生件数(町内)は、本町の人口が毎年2%減少していることも勘案し、成り行きでは毎年2件減少すると考える。目標として毎年3件の減少を目指す。【交通人身事故第一当事者者市町村別居住状況(人口10万人あたり(2016))沼田市:404人、片品村:281人、川場村:304人、昭和村:399人、みなかみ町:423人】</p> <p>B) 刑法認知件数は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。目標では毎年3件ずつ減少させることとする。【(刑法認知件数(2016))県:14,006件、利根沼田管内:386件、みなかみ町86件】</p> <p>C) 平成29年度アンケート結果では、「過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいけない思いをしたことがありますか。」が8.4%となっている。消費者被害が減少すればだまされることも減少すると考え、2022年度には約2%削減の6.6%を目指す。</p>
-----------	---

施策の目的・目標達成のための役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。</li><li>・歩行者、運転手ともに交通ルールを遵守する。</li><li>・地域ぐるみで防犯意識を高め、犯罪にあわないようにする。</li><li>・自衛意識(防犯グッズ所持、戸締まり、危険な場所へは行かない等)を持って行動する。</li><li>・悪質商法など、消費に関する知識を身につける。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・関係機関と連携し、交通安全設備の整備を図る。</li><li>・交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。</li><li>・信号や停止線、横断歩道など公安委員会への要望事項について、現状及び必要性を具体的に伝える。</li><li>・地域の防犯活動を支援し、防犯意識を高める。</li><li>・警察等の関係機関と連携し、非行や犯罪の未然防止に努める。</li><li>・消費者自身の知識向上と相談機能を充実させ、消費者の保護を図る。</li></ul>

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者ドライバーの事故が多く、運転免許証の自主返納しやすい環境作りが求められてくる。</li><li>・振り込め詐欺や悪質商法、ネット関連、架空請求などの特殊詐欺犯罪は、ますます巧妙になり被害額が大きくなる傾向にある。</li><li>・空き巣や自動車盗難は減少傾向にあるが、ここ数年増加傾向にある。</li><li>・ストーカー・配偶者からの暴力事案件数は件数こそ減っているものの、重大な結果につながることもあり、また、児童虐待事案件は増加する傾向にある。</li></ul>	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道路区画線の引き直し、ガードレールやカーブミラーの設置や修繕など、交通安全対策を進めてほしい。</li><li>・通学路の安全対策を進めてほしい。</li><li>・運転免許自主返納に伴い、運転経歴証明書の発行手数料の助成やバスカードなどの助成を求める意見がある。</li><li>・防犯カメラの設置を推進してほしい。</li></ul>
-----------	--	---

施策	8	生活安全対策の推進	主管課	名称	総務課
				課長	高野 明夫

実績比較		背景・要因
①時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	①交通事故件数は、令和3年の35件から47件となり12件増加した。 ②刑法犯の認知件数は、令和3年の57件から27件となり30件減少した。 ③1年間の間に消費者被害を受けた町民の割合は、全年齢で令和3年度の6.8%から8.9%に増加した。年代別では、30歳代と60歳代が最も多く 11.1% 次に20歳代で10.3%、それに続くのは40歳代の9.3%であった。
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。	
	<input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態)	
	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。	
	<input type="checkbox"/> かなり低下した。	
②他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。	①交通事故件数は、沼田警察署管内で令和3年の223件から258件となり35件増加している。沼田市は165件から174件となり9件増加、片品村は7件から14件となり7件増加、川場村は4件から9件となり5件増加、昭和村は12件から14件となり2件増加、みなかみ町は35件から47件となり12件増加となった。 沼田警察署管内の交通事故による死者数は令和3年の0人から3人となり内訳は沼田市1人、片品村1人、昭和村1人となっている。傷者数は302人から333人となり31人増加している。沼田市は227人から227人で増減無し、片品村は8人から19人となり11人増加、川場村は7人が14人となり7人増加、昭和村は13人が15人となり2人増加、みなかみ町は、47人から58人となり11人の増加となった。 ②刑法犯の認知件数は、沼田警察署管内で令和3年の236件から177件となり59件減少している。沼田市は147件から112件となり35件減少、片品村は11件から8件となり3件減少、川場村は11件から6件となり5件減少、昭和村は10件から24件となり14件増加、みなかみ町は57件から27となり30件減少となった。 群馬県の市町村別人口1,000人当たりの犯罪発生状況について、沼田市は2.4件で30位、片品村は1.9件で32位、川場村は1.9件で33位、昭和村3.4件で19位、みなかみ町は1.5件で35位となった。令和4年度は利根沼田管内だけでなく群馬県内において低い方から1位となった。 ③令和4年度の沼田市消費生活センターへの相談件数は、令和3年度の333件から388件となり55件増加している。沼田市は240件から280件となり40件増加、片品村は13件から11件となり2件減少、川場村は7件から6件となり1件減少、昭和村は22件から29件で7件増加、みなかみ町は51件から62件となり11件の増加となった。
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。	
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。	
	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	
③目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。	①交通事故発生件数は、目標値55件に対して47件と8件下回り、目標値を上回った。コロナウイルス感染症による自粛により県内外からの交通量が減少したことが主な要因と思われる。また、自動車の事故防止装置等の安全性能の向上などの要因も考えられる。 ②刑法犯認知件数は、目標値70件に対して27件と43件下回り、目標を大きく上回った。県内全体の刑法犯も毎年減少していたが、令和4年度においては、北毛地区以外は増加傾向が見られる。 ③過去1年間に消費者被害を受けた町民の割合については、目標値6.6%に対して8.9%と2.3ポイント増加したため、目標値を下回った。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。	
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。	
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。	
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1	交通安全・防犯意識の高揚	A 交通事故による人的被害者数(死者/傷者)	人	実績値	1/101	1/96	2/101	1/68	0/62	0/47	0/58
					目標値		0/100	0/95	0/90	0/85	0/80	0/76
			B 身近で犯罪にあう不安を感じている町民の割合	%	実績値	33.1	36	41.7	40.6	38.3	36.8	44.6
					目標値		30.0	29.0	28.0	27.0	26.0	25.0
	2	交通安全・防犯設備の充実	A 過去1年間に、道路で危ないと感じた町民の割合	%	実績値	49.1	51.4	53.2	53.2	50.8	56.1	58.3
					目標値		49.0	49.0	48.0	47.0	46.0	45.0
			B 市町村別人口1000人当たりの犯罪発生状況県内順位	位	実績値	21	23	24	19	24	20	35
					目標値		21	21	21	21	21	20
	3	消費者保護対策の推進	A 消費者被害相談件数	件	実績値	41	51	58	75	63	51	62
					目標値		42	43	44	45	46	47
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)	
	1	交通安全・防犯意識の高揚	①交通事故件数及び交通事故による人的被害者数は、令和3年度に比べ増加したが、平成28年度からは減少傾向となっており、今後も住民や町を訪れる方たちの命・身体を守るため持続した取り組みが必要である。 ②刑法犯の認知件数は、県内では15年以上連続で減少していたが、令和4年度は増加となった。全国的に見ると手口が悪質で、高齢者や若者が標的にされる事件などが多発している。	①四季の交通安全運動時の啓発活動や街頭指導、子ども園や学校での交通安全教室など啓発活動を行うと共にPTAや警察、教育委員会、地区役員等と連携した活動を行っていく。 ②ネット詐欺や高齢者を狙った詐欺まがい行為には、啓発チラシや防災アプリ、町のホームページ等を活用した注意喚起。県で実施している高齢者や子どもを対象にした出前防犯講座を社協等団体が活用するための支援を行う。	
	2	交通安全・防犯設備の充実	①カーブミラーやガードレールの老朽化による劣化があり、それらを改修する必要がある。また、交通安全施設として必要な場所の確認を行い設置をしなければならない。 ②夜間歩行者が通行する道路の点検(暗い箇所の把握)、女性や高齢者・子どもなどにとって、防犯上危険な場所の確認を行い、防犯設備を整備する必要がある。	①各行政区や関係機関から要望・情報提供のあった交通危険箇所や老朽化した安全施設について、計画的な整備を進める。緊急性がある場合必要に応じ早急に対処する。 ②犯罪行為の抑止力として、大きな役目を果たすのが防犯カメラであるため、警察や行政区、関係機関と連携し計画的に設置を行う。	
	3	消費者保護対策の推進	高齢者や若者をターゲットにした詐欺犯罪や詐欺まがいの行為が増加している。また、送りつけ商法や巧妙な詐欺行為が後を絶たない。	詐欺商法の情報やクーリングオフ等契約トラブルの対処の相談ができる、消費生活センターについて広報等で広く町民に周知する。また、相談内容に応じた対応を検討する。高齢者を対象にした特殊詐欺等防止機能付電話機の導入を促進する。	

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		交通指導隊運営事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	4,563,990 円		
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進							四季ごとの交通安全運動や、町内で行われるイベント等において交通安全指導を行うことで、交通秩序の確立及び交通事故の防止に努める。				新型コロナウイルスの影響により出勤機会が減少しているため、取り組みはなかった。				事業実績		
	基本事業		01		交通安全・防犯意識の高揚															出勤時間・出勤回数		
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
組織名			総務 課				消防・防災 係				小・中学校の交通安全教室などは別として、各種イベントの交通安全整理をすべて交通指導員に出勤してもらうのではなく、費用や話し合いがつけば、民間の警備会社に一部委託を検討。				小中学校の統廃合などにより、出勤機会の減少が見込まれるため、現状の定員が適切かどうか検討していく。				令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	12												

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		交通安全意識啓発事業						① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	1,128,941 円			
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進						四季の交通安全運動などを通じ、交通安全に対する意識啓発を行う。					なし					事業実績			
	基本事業		01		交通安全・防犯意識の高揚																交通安全イベント実施回数			
											②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策								
組織名			総務 課			消防・防災 係						課題なし					なし					令和 3年度	令和 4年度	単位
事業期間	継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	12											36	24	回

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業			000008			交通安全対策施設維持管理事業			① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	6,717,950 円	
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進			交通安全施設について、各行政区からの要望や道路状況等を勘案し、必要に応じて整備を行う。				区画線4,257.5m、グリーンベルト572m、ガードレール4m、カーブミラー11基、転落防止柵12m、標識(止まれ)1箇所、ポストコーン2個等を整備。				事業実績			
	基本事業		02		交通安全・防犯設備の充実											要望に対する設置率			
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策						
組織名			総務 課			消防・防災 係			予算執行に際し、地域整備課や群馬県警沼田警察署と協議し、より効果的に交通安全施設の整備を行う必要がある。				主に行政区長からの要望書により、必要と思われる物は順番に整備しているが、交付金の対象にならないグリーンベルト、区間の長い区画線やガードレールなど、予算規模から道路改修時ではないと要望に応えられない物も多い。				令和 3年度	令和 4年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1									目	12	69

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		防犯意識啓発事業										① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	200,000 円	
施策体系	施策	08		生活安全対策の推進										群馬県沼田警察署等からの防犯チラシ等を各世帯へ回覧のするための事務。 また、必要に応じて、防犯啓発品を購入し配布する。		特殊詐欺等防止機能付き電話機等購入費補助金制度を啓発し高齢者の被害防止に努めた。		事業実績		
	基本事業	01		交通安全・防犯意識の高揚														緊急メール配信回数		
	組織名		総務 課			消防・防災 係							②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13	手口が巧妙化している上に、切り替わりが早く広報やチラシなどでは手遅れになる危険もあり、タイムリーな情報発信が求められる。		特殊詐欺等防止機能付き電話機等購入費補助金制度と、啓発チラシの配布等を通じ、防犯意識の高揚を目指す。		令和 3年度	令和 4年度	単位			
															0	5	回			

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		防犯灯設置費補助事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	589,000 円		
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進						行政区等が設置する防犯灯の設置費の補助 (新規は上限4万円、更新は上限2万円)				新設4万円、更新2万円を補助することで、 新設7件9箇所、更新8件12箇所の申請があった。 新設件数は減少したが更新件数が増加した。				事業実績		
	基本事業		02		交通安全・防犯設備の充実														申請数		
							②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名		総務		課		消防・防災				係				防犯灯の設置は町で行うべきとの意見がある。				補助制度を利用していただき、各行政区が防犯灯を設置し電気料等の維持管理も負担してもらう。			
																		令和 3年度 令和 4年度 単位			
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13					13				15		件

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		防犯協会運営事業										① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	151,320 円		
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進										犯罪のない明るい町づくりをめざし、防犯活動を推進するための組織である防犯協会の会議等を開催する。				なし				事業実績		
	基本事業		02		交通安全・防犯設備の充実																		会議等開催件数		
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
組織名			総務 課				消防・防災 係				課題なし				なし				令和 3年度	令和 4年度	単位				
事業期間	継続事業			会計	1	款	2	項	1	目									13	0	0	回			

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		防犯設備維持管理事業										① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,621,776 円				
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進										町が管理する防犯灯の電気料金の支払と照明器具交換等の修繕を行うことによって、町民の安全・安心を推進する。	なし	事業実績						
	基本事業		02		交通安全・防犯設備の充実												修繕箇所数・設置箇所数						
														②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策							
組織名				総務 課				消防・防災 係										令和 3年度		令和 4年度		単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13							9・383		6・388		箇所		

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		防犯設備整備事業										① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,505,498 円	
施策体系	施策	08		生活安全対策の推進										防犯カメラ等、防犯設備の整備を行う。	月夜野地区(5箇所)、水上地区(3箇所)に防犯カメラ8台(3台は更新)及び防犯灯付き防犯カメラを2台設置した。	事業実績				
	基本事業	02		交通安全・防犯設備の充実												整備数(累計設置数)				
組織名		総務 課			消防・防災 係							②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13			要望に基づき設置に対応しているが、効果的な設置場所の検討が必要となる。	各行政区の要望や警察の意見も取り入れ、優先順位をつけて整備を行う。		令和 3年度	令和 4年度	単位		
															2(44)	10(51)	箇所			

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000007		防犯対策費負担事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		494,515 円			
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進					賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて町の防犯対策の推進を図る。					なし					事業実績				
	基本事業		02		交通安全・防犯設備の充実															負担金等支払い件数				
										②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策									
組織名			総務 課			消防・防災 係			課題なし					なし					令和 3年度		令和 4年度		単位	
事業期間		継続事業		会計	1	款	2	項											1	目	13	4		4

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		消費生活センター運営費負担事業						① 事務事業の内容						③課題解決のため取り組んだ事、その結果						事業費		1,956,580 円		
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進						沼田市消費生活センターに業務委託。契約や取引に関する消費者トラブルで困ったときの相談窓口を開設している。						消費生活センターニュースの配布等による広報活動を行った。						事業実績			
	基本事業		03		消費者保護対策の推進						②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策						沼田市消費生活センター相談件数 (みなかみ町分)			
組織名			観光商工 課			商工振興 係			消費生活センターの認知度の向上。						引き続き消費生活センターの周知を図る。						令和 3年度		令和 4年度		単位	
事業期間	継続事業			会計	1	款	7	項	1	目	1							51		62		件				

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		消費に関する知識普及事業										① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	70,000 円		
施策体系	施策		08		生活安全対策の推進										消費生活を送るうえで、身の回りに潜む危険に関する知識を蓄え、備えるために、消費に関する正しい知識を広く周知し、個人の意識啓発と消費生活の安定を図る。					県や消費生活センターと連携した啓発活動及び高校生向け啓発パンフレットの作成・配布を行い、消費者の知識の蓄積を図った。					事業実績		
	基本事業		03		消費者保護対策の推進																				消費者に関する啓発活動の回数		
															②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策							
組織名			観光商工 課				商工振興 係				広報掲載、啓発チラシ回覧等による知識の蓄積。					引き続き、県事業及び消費生活センターと連携し、消費トラブルに関する啓発活動を行う。					令和 3年度	令和 4年度	単位				
事業期間	継続事業			会計	1	款	7	項	1	目	1						10					10	回				